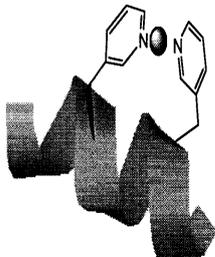


発明の名称	両親媒性の高分子配位子によって安定化された高分子錯体および検査用組成物および医薬組成物 (特許第 5263805 号)	
学内発明者	奥 浩之(理工学府) 山田 圭一(理工学府) 片貝 良一(元工学研究科) 花岡 宏史(元医学系研究科) 織内 昇(医学系研究科) 遠藤 啓吾(元医学系研究科) 早川 晃一(元医学系研究科) 小濱 一弘(元医学系研究科) 飯田 靖彦(医学系研究科)	
技術分野	医薬	IP19-042
発明の概要	疎水性配位子と親水性ポリマーからなる両親媒性のブロック共重合体と1種以上の金属原子からなる高分子錯体を提供する。	
説明図		
ポイント	本発明の高分子錯体は、水系環境下に於いても金属原子を穏和な条件で簡便かつ安定に配位させることができるため、生体材料や医薬組成物として、より具体的には放射性薬剤、常磁性薬剤、蛍光性薬剤として、種々の異常組織の診断および治療に、特にある種の癌の診断および治療に有用である。	

発明の名称	微粒子及びその製造方法(特許第 5429707 号)	
学内発明者	奥 浩之(理工学府) 山田 圭一(理工学府) 片貝 良一(元工学研究科) 鈴木 守 (元群馬大学)	
技術分野	医薬(薬物担持材料)	IP20-075
発明の概要	生理活性物質含有微粒子を効率よく製造する。	
説明図	<p>酢酸水溶液をはじめの水相 W1 に用いた、ダブルエマルジョン法によるナノ微粒子の SEM 写真 (白線は5 μm)。(a) 人工抗原ペプチドを含まない微粒子 (平均粒径 = 0.75 μm)。(b)人工抗原ペプチドを含む微粒子 (平均粒径 = 0.65 μm)。</p>	
ポイント	難溶性の生理活性物質を用いたときも効率よく微粒子を作製することができる。生理活性物質をマラリア原虫エノラーゼの部分配列および類似配列体とすることで、ヒトおよび他の動物での免疫反応を利用したマラリア原虫に対する免疫学的応答を誘発することのできる、熱帯熱マラリア原虫(Plasmodium falciparum)の増殖を抑える免疫用抗原やマラリア原虫感染症の予防のための医薬組成物、さらにはマラリア感染への免疫状態の診断材料として使用できる。	